完了書

25発開材 第 10号 平成 25年 10月 21日

会社名

有限会社フジョシ電機

様

住所

183-0055

東京都府中市府中町1-39-4

| 開発支援品 | 漏油チェックシール |
|--------|-----------|
| | |
| | |
| | |
| 開発支援事項 | 油の吸収性 耐候性 |
| | |
| | |
| | |
| 実施期間 | |

平成 25年 08月 30日 付けご依頼のありました上記オーダーメード開発支援が完了したので報告いたします。

平成 25年 10月 21日

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター理事長

- (注)・完了書の記載内容は、利用者から依頼された開発支援内容に対し、産技研が実施した処理内容の記載であり、開発支援に関わる成果品等の全体の性能・効能等を保証するものではありません。
 - ・完了書の内容を広告等その他に掲載しようとする場合は、あらかじめ地方独立行政法人東京都立産業 技術研究センターの承認を受けてください。

[1. 開発支援詳細]

新規漏油チェックシールを開発するために、依頼者が持ち込んだ2種類の試作品について、「油の吸収性」と「耐候性」の評価を行った。

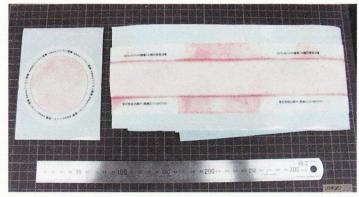


図1 漏油チェックシール試作品(左:丸形、右:角形)

[2. 油の吸収性]

漏油チェックシール試作品の油の吸収性は、図 2 に示す試験サンプルを用いて行った。丸形は依頼者持ち込み品を、台紙から剥がしそのまま試験し、角形は図 2 に示したように 50 mm にカットした後、台紙から剥がし試験を行った。なお、この漏油チェックシールは油を吸収すると赤色に変色する。

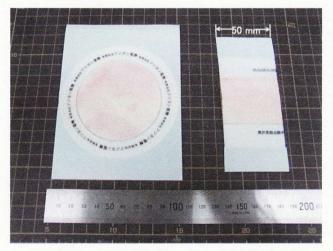


図2 油の吸収性に用いた試作品

まず、丸形の吸油性を評価するために、図 3 に示す吸収部位中心に 1.0 ml ずつ依頼者持ち込みの油をゆっくり滴下した。3.0 ml 滴下したところで吸収されなかった油が吸収部位外に溶出した。次に、油を 2.0 ml 滴下した後、0.5 ml の油を滴下(合計 2.5 ml)したところ、吸収されなかった油が吸収部位外に溶出した。

今度は、油を 2.0 ml 滴下した後、0.1 ml ずつ油を滴下したところ、0.5 ml (合計 2.5 ml) 滴下したところで、吸着されなかった油が吸収部位外に溶出した(図 4)。

よって、丸形は油を 2.5 ml 吸収する性能は有していないことが推測された。 以下次葉





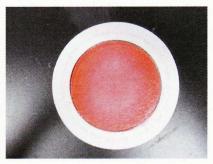


図3 試験時の写真(左:試験前、中:試験中、右:試験後)

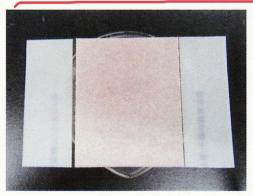


図4 試験後の拡大写真

次に、角形の吸油性を評価するために、図 5 に示す吸収部位中心に 0.5 ml ずつ依頼者持ち込みの油を滴下した。1.5 ml 滴下したところで吸収されなかった油が吸収部位外に溶出した。

次に、油を 1.0 ml 滴下した後、0.1 ml ずつ油を滴下した。0.2 ml (合計 1.2 ml) 滴下したところで、吸着されなかった油が吸収部位外に溶出した。

よって、50 mm にカットした角形は油を 1.2 ml 吸収する性能は有していないことが推測された。



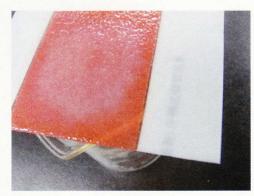


図 5 試験時の写真(左:試験前、右:試験後)

以下次葉

[3. 耐候性]

漏油チェックシール試作品の耐候性は、図6に示す試験サンプルを用い、それぞれ2サンプルず つを試験した。50時間後に1サンプルずつ取り出し、残りの1サンプルずつを100時間後に取り 出した。なお、試験方法は JIS K7350-2:2008 プラスチックー実験室光源による暴露試験方法 第 2部:キセノンアーク光源に準じ行った。試験条件の詳細を以下に示す。

試験条件:放射光源:キセノンアークランプ 7.5 kW 水冷式

フィルタ: 方法A (デイライトフィルタ)

放射照度: 100 W/m² (調節波長範囲300~400 nm)

試験時間:50時間

放射露光量: 18 MJ/m²

ブラック標準温度計の示度:65±2℃

湿潤サイクル:湿潤時間18分 乾燥時間102分

試験機:スーパーキセノンウェザーメータ-SX75 スガ試験機(株)

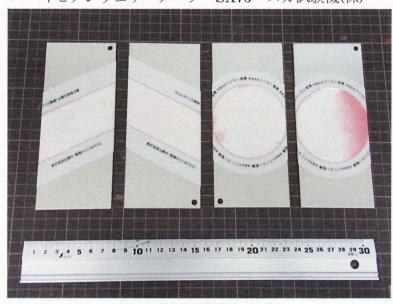
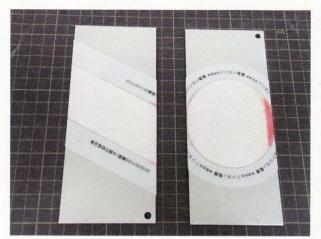


図 6 耐候性試験サンプル

以下次葉

50 時間後、100 時間後共に、目視確認により白色部分の変色が確認された (図 7)。しかしなが ら、50 時間後と 100 時間後の変色度合いの差に関しては、目視では評価できなかった。また、シ ール部分の剥がれ、及びふくれは確認されなかった。

また、油を吸収した時に変色する赤変は評価の対象外とした。





耐候性試験後のサンプル(左:50時間後、右:100時間後)

以上